



小沼ようすけライブ with noon



2013.6.30 [sun]

チケット料金/お一人様 **3,000円** (入場料含む) 当日チケット **3,500円**

●開場/PM3:00 ●開演/PM4:00



十勝千年の森

Tokachi Millennium Forest

〒089-0356 北海道清水町羽帯南10線

ファームレストランキサラ前
【雨天会場 マンサード裏 農機具庫】

●受付 料金所



noon

大阪府生まれ。ルーツは韓国。中学生の時に、TV-CMから流れていたハリー・コニックJr.の歌に魅せられジャズに興味を持つようになる。2003年10月、アルバム『better than anything』でデビュー。2007年11月7日 初のベストアルバム『FOR YOU - noon's best』をリリース。柔らかで、みずみずしい感性と、伸びやかな歌声は、独自の存在として高く評価されるジャズ・ヴォーカリスト。

小沼 ようすけ

海とギターが調和した瑞々しいサウンドで知られる小沼ようすけは、現在までに発売された8枚のアルバムがいずれも好評を博し、日本を代表するジャズ・ギタリストの一人として注目され続けている。1995年、ヘリテージ・ジャズギター・コンペティション日本代表、ナッシュビルで行われた世界大会で3位になったことを皮切りに、1999年、ギブソン・ジャズギター・コンテストにて優勝して、2001年にアルバム『nu jazz』でソニーミュージックよりデビュー。アメリカで流行していたジャムバンド・シーンにリンクしたオルガン・サウンドとファンキーなギターによるグルーヴ・ジャズ・スタイルの作品により、瞬間に脚光を浴びる存在となった。ジャズ・ギタリストとしての矜持と真摯に向かい合うべく制作された4作目『スリー・プライマリー・カラーズ』(2004)では、リチャード・ボナ(b)、アリ・ホーニグ(dr)と共に三位一体となった真剣勝負を繰り広げ、次世代のジャズ・ギターをリードする新しい個性として名乗りを上げることに成功した。その評価は、日本最大のジャズ・フェスティバル“東京ジャズ”に2005、2006年と2年連続で出演、2007年にはジャカルタで行われたJAVA JAZZ FESTIVALに招待されたことから窺い知ることができる。同年、小沼はロサンゼルスにて名匠アル・シュミットをエンジニアに迎え、ギターと共に生活の一部としているサーフィンにインスパイアされた6作目『ビューティフル・デイ』を制作。自分色を加えた新しいサウンドは、“サーフ・ミュージックへのジャズからの回答”と評された。以降、サーフ系フェスティバルからの招待や、サーフィン雑誌からのインタビュー取材など、既成のジャズの殻を打ち破るオリジナリティのあるジャズ・ギタリストの道を歩んでいる。最新作は『ビューティフル・デイ』のコンセプトを発展させて、カリブ諸島グアダループのリズム“グォッカ”を取り入れたダブル・パーカッション編成による“ジャムカ”。

■協賛 伊藤園

■後援 (株)十勝毎日新聞社・エフエムおびひろ

■チケット販売所

セブンイレブン、ローソン、ジョイ・イングリッシュアカデミー、勝毎サロン、十勝千年の森